

落語家
桂 春蝶

古典から創作まで
話芸で別世界を創る男

上方舞踊界に咲く
一輪の白い花

日本舞踊家
山村若静紀

地歌三味線 演奏家
菊 央雄司

その音色の機微は
時空も超える

既成にとらわれない
奇跡の表現力

アナウンサー
桂 紗綾

RENBO Vol.2 忠臣蔵綺譚

～桂春蝶「中村仲蔵」相勤め申し候～

上方舞「廓景色」
創作朗読「仮名手本忠臣蔵」
落語「中村仲蔵」
“和のクラシック”で紡ぐコラボステージ

劇作家・演出家
わかぎ 紘ふ

9.27
fri
チケット発売

2024 12.20 fri 18:30 開演 21 sat 13:00 開演 ABCホール

[一般席] 5,500円(税込) [RENBOプレミアシート] 6,500円(税込) 特典付き/数量限定 ※いずれも指定席
RENBOプレミアシートの特典:ご購入者様全員にオリジナル手ぬぐい、サイン入り写真セット、エビシーグッズを会場内にてお渡しします。

●ABCびあ (Webで予約・購入)
ABCびあ Q検索
<http://w.pia.jp/a/renbo/>
24時間受付! 入会費・年会費無料

●チケットびあ <https://w.pia.jp/t/renbo/>
[Pコード:529-552]
※お近くのセブンイレブン、ファミリーマート、MINISTOP、
ローソンでもお求めいただけます。

お問い合わせ
ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
(月・水・金 平日10:00~15:00)

感染症拡大防止策として営業時間を短縮しています

注意事項

●未就学児童のご入場はお断りいたします。●出演者や演目は、やむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。
●車椅子でご来場のお客様は、スムーズなご案内のため事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

RENBO Vol.2 忠臣蔵綺譚

～桂春蝶「中村仲蔵」相勤め申し候～

命をつらぬく麗しき人々の想いを“和のクラシック”で紡ぐコラボステージ

「落語」「文学」「上方舞」…3つのジャンルを伝統芸能の中に息づく音曲で紡ぐスペシャルステージ！
日本の伝統文化、上方の古典文化を“共通項”で結び、ワンステージに融合させる新たな試みの第2弾です。

今回のテーマは、令和の時代も日本人の心を惹きつけてやまない「忠臣蔵」。

そのスピリットを3つの「綺譚」としてお届けします。

関西の伝統芸能継承者たちの華やかな競演で年末の一日をお楽しみください！

□公演スケジュール

RENBO Vol.2 忠臣蔵綺譚 ～桂春蝶「中村仲蔵」相勤め申し候～
12月20日(金)開演18:30(開場18:00) / 21日(土)開演13:00(開場12:30)

2公演共通

上方舞
「廓景色」

創作朗読
「仮名手本忠臣蔵」

落語
「中村仲蔵」

【演出】

わかぎあふ

【出演】

落語 …… 桂春蝶(落語家)
上方舞 …… 山村若静紀(日本舞踊・山村流師範)
演奏 …… 菊央雄司(地歌三味線 演奏家)
朗読 …… 桂紗綾(ABCテレビアナウンサー)

会場 **ABC Hall** 〒553-8503 大阪市福島区福島1-1-30
Tel.06-6451-6573

アクセス 阪神本線「福島駅」から徒歩5分 / JR東西線「新福島駅」から徒歩5分
JR大阪環状線「福島駅」から徒歩7分 / 京阪中之島線「中之島駅」から徒歩7分
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



□プロフィール



桂春蝶

大阪府生まれ。1994年に三代目桂春団治に入門して春蝶、2009年8月に三代目桂春蝶を襲名。2013年咲くやこの花賞、2009年なにわ芸術祭審査員特別賞受賞。実父である二代目桂春蝶の死をきっかけに落語家になることを決意。近年は「桂春蝶の落語で伝えたい想い。」をシリーズ化し、史実をベースにした創作落語を意欲的に発表。今年6月には「芸能生活30周年記念公演」としてシリーズ10作目となる「太郎と太陽と大」を上演し大成功を収める。



桂紗綾

和歌山県生まれ。2008年にABC入社。今年9月までABCラジオ「朝も早よから桂紗綾です」を担当。社会人落語家として桂春蝶師に師事し、表現の場を広げる。2018年社会人落語日本一決定戦で市長賞受賞、ナレーション担当作品「ABCドキュメンタリースペシャル『こどもホスピス〜いのち輝く“第2のおうち”〜』」が日本民間放送連盟賞最優秀賞及び年間テレビ部門準グランプリ(2023年)を受賞。



わかぎあふ

大阪府出身。「リリパットアーミーⅡ」2代目座長。古典芸能の造詣も深く、歌舞伎「たのきゅう」(坂東三津五郎主演)「色気囃い伊勢堀り」(中村扇治郎主演)の演出や衣裳デザイン、文楽のcommentary、落語の執筆、新作狂言の作・演出など大劇場から小劇場まで縦横無尽に駆け回る数少ない演出家の一人でもある。2022年には第57回大阪府市民表彰(文化功労)を受賞。



山村若静紀

京都府生まれ。3歳より日本舞踊を始め、山村若佐紀(旭日小経堂・紫綬褒章受章)に師事。大阪の商家や花街を中心に舞い伝えられてきた上方舞・山村流の師範として、大阪・神戸・東京に稽古場を開く。また、舞踊公演への出演や門弟の育成はもとより、大学や企業での講座、伝統芸能のイベントプロデュースなど、幅広く活動している。本名・堀口初音として著書に「上方伝統芸能あんない」(創元社)ほか。日本舞踊協会会員。



菊央雄司

大阪府生まれ。人間国宝・菊原初子の後継者。地歌演奏家・菊原光治の演奏に感銘を受け、12歳で師に入門し、後に「菊央」の称号を授かる。1999年より上方胡弓を菊津木昭に師事。以後、地歌三味線などの伝統を継承しながらも現代邦楽や新しいスタイルでの演奏にも目を向け、国内にとどまらず、韓国、ヨーロッパ各国などでも積極的に公演を行っている。2005年咲くやこの花賞、2017年第21回日本伝統文化振興財団賞のほか、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

【スタッフ】 舞台監督:脇田和哉(kazuworks) / 照明:満洲 功(campana)
音響:宮崎孝幸(エグゼクティブスタジオ) / 付け打ち:山崎 徹
美術:つむら工芸 / 床山:八木源かつら / 衣裳:松竹衣裳
顔師:山野桂子 / 撮影:佐藤 浩 / 宣伝美術:大隅英一郎(warp)
制作:保坂和拓(ABCテレビ)